

あのとき、あしべつは

ちょっとだけ過去に寄り道散歩 ⑥



市民の皆さんによるごみ減量化の取り組みとともに、自発的な活動でマチの環境が守られています(親子一斉クリーン作戦)

芦別の美しい環境を守る

本市は、2004(平成16)年にごみ処理手数料の全面有料化を実施しました。資源の無駄遣いをなくし、循環型社会を実現するため、ごみ減量化意識を市民の皆さんにももってもらおう、というのがねらいでした。

缶、ペットボトル、紙製容器包装などの資源ごみをはじめ、生ごみも含め、現在では4分別10種類を回収し、再処理して利用できるものは、事業者などへ引き渡して資源の有効利用に努めています。

また、地球温暖化防止への市民の皆さんの意識の高まりとともに、本市では環境基本条例を制定し、環境基本計画を策定。本市が目指す望ましい「環境像」として、「良好で快適な環境を守り育て、安心して暮らせるまち」を設定。ごみリサイクルやエネルギーなど生活環境、農業・森林などの自然環境。さらには、市民の皆さんの自発的な活動による環境美化・環境教育に取り組んでいます。

2003(平成15)年～2012(平成24)年	
芦別市内での主なできごと	
2003(平成15)年	・市制施行50周年 ・総合運動公園の市民球場が完成、利用開始
2004(平成16)年	・市のごみ処理手数料を全面有料化 ・通信制の星槎大学が旧頼城小学校校舎を活用し開学
2005(平成17)年	・新炭山川橋が完成
2006(平成18)年	・北海道芦別総合技術高校が閉校
2007(平成19)年	・国道38号芦別バイパスが(本町～上芦別)開通
2008(平成20)年	・北海道中央バスが芦別営業所と市内3路線を廃止。代わりにキラキラバスが運行開始
2009(平成21)年	・芦別精療院の新病棟が完成、中野記念病院として開院
2010(平成22)年	・芦別小学校のスクールバンドが10年ぶりに復活
2011(平成23)年	・空知大滝甌穴(おうけつ)群が、北海道天然記念物に指定 ・緑ヶ丘小学校が開校
2012(平成24)年	・市が栄誉賞を創設。第1号に探検家でノンフィクション作家の角幡唯介さんとカンボジアで教育支援活動を行っている田中千草さんに贈呈
北海道内外の主なできごと	
・イラク戦争開戦(2003)・駒大苫小牧高校野球部が夏の甲子園で道内勢として初優勝(2004)・J R福知山線脱線事故、107人死亡(2005)・洞爺湖町でサミット開催・米大統領オバマ氏当選。初の黒人大統領誕生(2008)・衆院選で民主党が圧勝政権交代(2009)・東日本大震災。東京電力福島第1原子力発電所事故(2011)・衆院選で自民党が圧勝。3年ぶり政権奪還(2012)	

指揮者先頭

指揮者先頭とは、「指揮者は常に皆の先頭に立って行動する必要がある。」という意味で、私が考えた大切に行っている言葉です。

No. 20



1月5日の消防出初式。災害がなく、市民の安心安全な暮らしを守ることを誓いました

新年を迎え、今年も多くの会合にお招きをいただきました。公務の合間を縫ってできる限り参加させていただき、多くの方々との懇親を深めながら、市政に対するご提言もいただいたところです。

このように年に何度か各地域や団体で行われる懇談の席は、私にとっても貴重な場面

であり、皆さんの「生の声」を聞ける大切な時間と考えています。

今年「練り上げた政策を形にする1年」と目標を定めましたので、例年以上に市民の皆さんの声をお伺いしたいと思えます。多くの意見を市政に反映させるのがまちづくりの基本です。どうぞ各団体や地域の皆さんのお集りがありましたら市役所秘書係に気軽にご連絡ください。日程の調整は必要ですが喜んでお伺いさせていただきます。

雪深く寒さ厳しい毎日が続いています。新年が明けたとはいえ、北海道の冬の厳しさはまだまだこれからです。くれぐれもご自愛ください。

(平成26年1月21日記)

芦別市長 清澤 茂宏